

住民発！
「もじスクラム計画」
～声かけあう町・門司校区～



法師庵の坂から門司中央小学校を望む

小地域福祉活動計画 第一次計画

2019年～2023年【5カ年計画】



門司校区社会福祉協議会

住民発！「もじスクラム計画 ～声かけあう町・門司校区～」

ごあいさつ ー計画策定にあたりー

門司校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にもいち早く取り組み、平成7年より「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢化時代となり、世帯構造についても大きな転換期を迎えています。北九州市においても少子高齢化や、障害のある人の増加、核家族化や孤立、ホームレスの問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性が高まっています。その中で、行政と民間団体との役割分担・協働の指針である「北九州市の地域福祉 2011—2020」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、その行政計画と協働しながら地域社会の福祉課題を解決する「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」（北九州市地域福祉活動第五次計画）が北九州市社会福祉協議会を中心として策定されています。

門司校区においても新しい課題が生まれてきており、今後、地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していくことが求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、小地域福祉活動計画を策定し、そうした協議の場を設けることとしました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

平成31年3月



門司校区社会福祉協議会
会長 中村 輝行



目次

ごあいさつ

目次	1
第1章 計画策定にあたって	2
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 門司校区の現状と課題	3
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
3 門司校区の人口動向（住民基本台帳より）	
第3章 門司校区の基本計画と実施計画	5
1 基本理念	
2 基本目標	
3 基本計画（体系図）	
4 実施計画（重点実施項目）	
第4章 門司校区の計画推進	10
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	11
1 門司校区小地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発進の行動計画

この計画は、門司校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、門司校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 門司校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

2019年度～2023年度までの5カ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

門司校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、門司校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成30年8月21日の策定委員役員打ち合わせに始まり、全9回に及ぶ協議を経て、門司校区小地域福祉活動第一次計画を策定しました。(P11 参考資料参照)



第2章 門司校区の現状と課題

1 地域社会の動向

門司校区の基礎データ（門司校区社協ホームページより）

人 口	3,720 人	小 学 校	門司中央小学校
世 帯 数	1,485 世帯	中 学 校	門司中学校
高 齢 化 率	35%	活 動 拠 点	門司校区公民館
1人暮らし高齢者	410 人		老松市民センター
福 祉 協 力 員	57 人	民生委員児童委員	9 人
その他社会資源等	池田医院、植田外科胃腸科医院、あきたけ医院（あきたけ病児保育室併設）、さがら耳鼻咽喉科医院、門司青少年体育館、老松公園（児童公園）、上本町公園、上本町西公園、竜門町林間公園、東門司2丁目公園等		

（平成30年3月現在）

門司港レトロ地区と隣接した国道3号線から山側に位置しており、交通の便は比較的良いものの、山坂が多く外出しづらい地形でもあります。

また、古くから栄えた地域のひとつでもあり、近くには市民会館や図書館、公園等の文化施設や病院、商店街がある閑静で環境に恵まれた地域です。

2 地域の福祉課題

門司校区社協では、「見守り、支え合い、話し合い」をモットーに、平成7年度より「ふれあいネットワーク活動」による地域の見守りや声かけ、助け合い活動を行ってきましたが、高齢化率が高くなり、独居高齢者を含む高齢者への対応が必要となってきています。また、地形的に山坂が多く外出しづらいことが原因と考えられる課題も増えてきており、今後さらに民生委員児童委員協議会及び自治会などの関係団体との連携を強化し、地域一丸となって様々な問題に取り組むことが必要となっています。

さらに、災害時に支援が必要な方の更なる増加も予想され、災害時に地域住民が助け合えるような「共助」のしくみを、いかに地域に根付かせることができるかが課題です。



敬老会



どんと焼き



3 門司校区の人口動向（住民基本台帳より）

【表1】門司校区 年齢別人口の推移（単位：人）

	平成30年	平成20年	平成10年	増減数 (対平成10年)
総人口	3,601	4,709	5,875	-2,274
0～14歳	284	457	679	-395
15～64歳	1,605	2,653	3,668	-2,063
65歳以上	1,612	1,599	1,528	84
高齢化率	44.8%	34.0%	26.0%	18.8%

【表2】門司校区 主な町内ごとの高齢化率（平成30年と平成10年の比較）

		平成30年9月				平成10年9月			
		世帯数	人口 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率	世帯数	人口 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率
門司区		50,045	99,232	35,967	36.2	48,638	118,614	25,807	21.8
門 司 校 区	上本町	185	291	166	57.0	232	505	131	25.9
	花月園	309	541	296	54.7	430	974	290	29.8
	谷町2丁目	153	286	135	47.2	211	467	161	34.5
	東門司2丁目	378	713	318	44.6	493	1,142	368	32.2
	東門司1丁目	536	923	380	41.2	688	1,431	373	26.1
	谷町1丁目	246	522	206	39.5	220	611	111	18.2
	法師庵	176	325	111	34.2	289	745	94	12.6
	合計	1,983	3,601	1,612	44.8	2,563	5,875	1,528	26.0

～上記データからわかること～

- ・平成30年と平成10年の人口を年齢別に比較すると、0～14歳、15歳～64歳の人口減少が著しいことが分かります。（【表1】参照）
- ・65歳以上の人口は微増ですが、0歳～64歳の人口が激減した事が高齢化率を高くした原因の一つとして考えられます。
- ・平成30年、上本町と花月園の2町内の高齢化率が50%を超えています。
他の町内も門司区の高齢化率（36.2%）をほぼ超えています。（【表2】参照）
- ・門司校区の高齢化率はこの20年間で約1.7倍になっています。（26%→44.8%）
- ・平成10年の1世帯当たりの人数は約2.2人でしたが、平成30年は約1.8人と減少しています。



第3章 門司校区の基本計画と実施計画

1 基本理念

「みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり『門司校区』」

子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、住み慣れたまち「門司」で共に安心して生活していくという想いを形にするため、門司校区の小地域福祉活動計画の基本理念「みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり『門司』」を実現していきます。

2 基本目標

基本目標1 「地域の活動力を高め、みんなで暮らしを支え合おう」

向こう三軒両隣のような、小さなコミュニティで支え合う「互^ご近^{きん}助^{じょ}チーム」の編成を進めます。また、地域住民の困りごとに幅広く対応した「スクラム☆門司校区」を立ち上げ、住民同士で助け合うしくみをつくります。

基本目標2 「災害に強いまちにしよう」

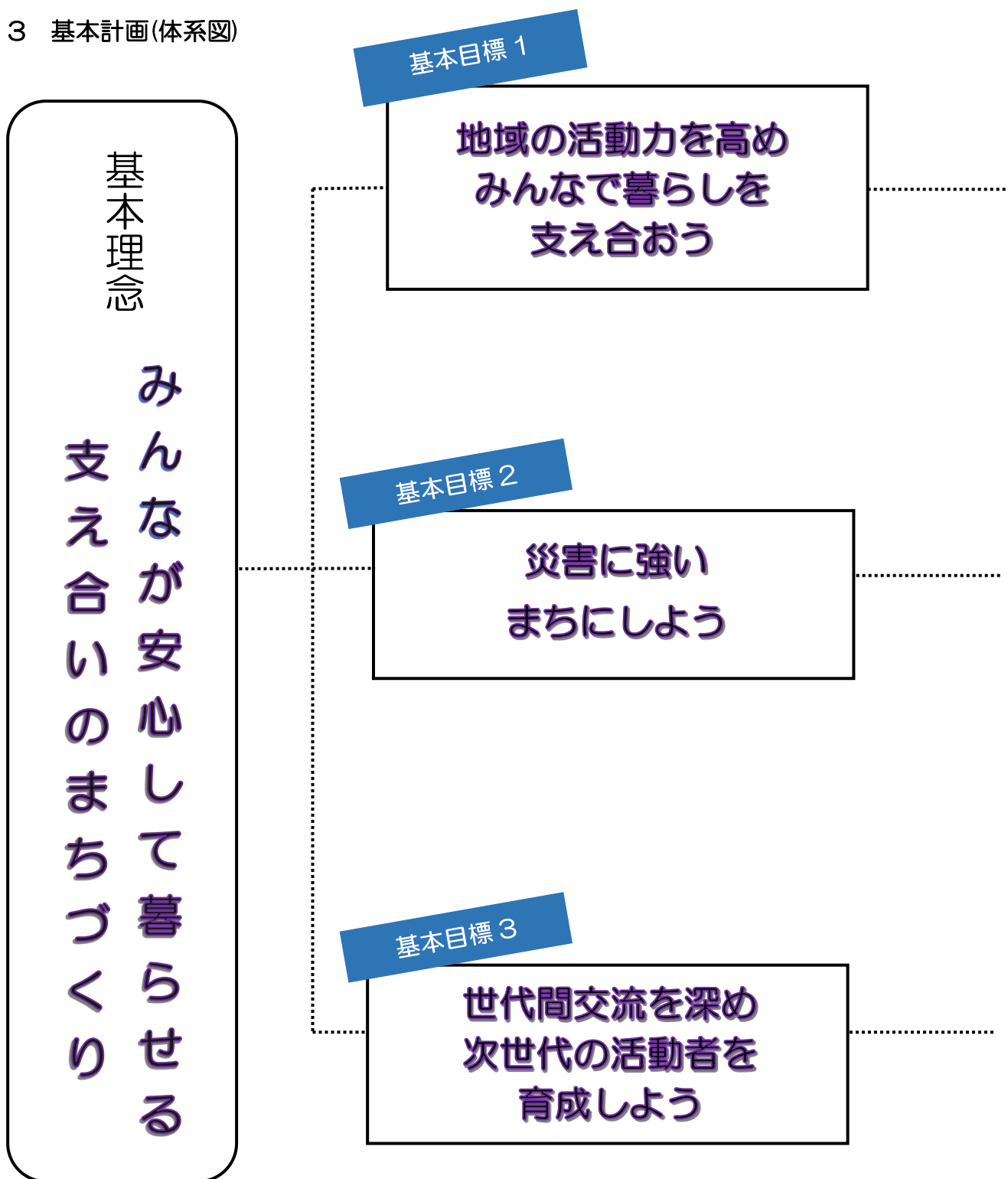
町内会長や住民へのアンケート結果を踏まえ、今後の活動をセーフティロック（安全のカギ）に例え、“ロック1”“ロック2”と番号付けを実施し、住民にわかりやすく周知します。また、活動の進捗状況を常に確認しながら、緊急連絡網の整備や広報、地域行事等を通じて住民一人ひとりの防災に対する意識を高めます。

基本目標3 「世代間交流を深め、次世代の活動者を育成しよう」

「互^ご近^{きん}助^{じょ}チーム」のつながりをいかし、地域住民が交流しやすい環境をつくることで、住民間のつながりを強化するとともに、社協活動への協力と参加を促進します。



3 基本計画(体系図)



【実施項目の凡例】

【ま】 まちづくり協議会

【自】 自治連合会

【民】 民生委員児童委員協議会

【生パ】 生活安全パトロール隊

【校社】 門司校区社会福祉協議

【お】 おやし会

【婦】 婦人会

【公愛】 公園愛護会

【老】 老人会

【福協】 福祉協力員

【老ま】 老松まちづくり連合協議会

【門老】 門司区老人クラブ連合会

【公】 門司校区公民館

【市セ】 老松市民センター

【G】 門司中央グラウンドゴルフクラブ

実施項目

●ふれあいネットワーク活動の充実

〈具体的な取り組み内容〉

- ・住民アンケートの実施
- ・福祉台帳の整備
- ・連絡調整会議の充実
- ・「スクラム☆門司校区」の立ち上げ
- ・「互近助^{こきんじょ}チーム」の編成

- 連絡調整会議【校社、自】
- 見守り活動【民、福協、自】
- シルバー文化祭【公】
- 門司にっこりサロン【婦、民、G、老】
- 敬老会【ま】 ○日帰り旅行【老、婦】
- シルバーふるさと祭り【婦、老、公】
- グラウンドゴルフ【自、婦、公愛、門老、G】
- 認知症予防教室（毎月2回）【老ま、市セ】
- 納涼大会【老】

実施項目

●災害時の救援体制づくり

〈具体的な取り組み内容〉

- ・町内会長アンケートの実施
- ・緊急連絡網の整備

- パトロール【ま、生パ】
- 1万人防犯パトロール大作戦【ま】
- 歳末防犯防火【ま】

実施項目

- キャンプ【お】
- 歩こう会（春、秋）【ま】
- もちつき大会【お、市セ共催】【老】
- にこにこ事業【老ま、市セ共催】
- 秋祭り【ま、婦】
- 日赤研修旅行【婦】
- ふれあい旅行【公】
- エコツアー【公】
- 新年会、どんと焼き【ま】
- みなと祭り【ま、婦】
- ボウリング大会【お】
- 町一斉美化の日、清掃参加【公愛、ま】
- バザー【婦】【お】
- 町内総会【自】
- 花見会【ま】
- 老松市民センター文化祭手伝い【ま】
- フェスティバル【婦、区】
- 資源回収（毎月1回）【ま】
- 婦人会研修（毎月1回）【婦】
- 校区公民館の大掃除【公、婦、G、公愛、お、老】
- 行事計画等【老】
- 盆踊り【婦、公】
- 市民センター行事【老ま、市セ】
- 北九州マラソンボランティア【婦、民、自】

実施項目

●重点実施項目・・・特に力を入れて取り組みたい事業・活動です。

○・・・現在取り組んでいる活動です。

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目		ふれあいネットワーク活動の充実						
1 課題背景及び現状								
・現在、町内会長が福祉協力員を兼任し（兼任率 100％）1 年で交代する町内もある為、福祉協力員、民生委員・児童委員や各団体との連携や情報の共有がしづらい状況です。 ・近年は独居高齢者や認知症の方、自治会へ加入しない世帯や、地域との関わりを持ちたがらない住民の増加など、人と人とのつながりやふれあいが希薄化しています。また、支援を必要とする高齢者や子どもたち、障害のある人の世帯の増加など、地域福祉のニーズが複雑・多様化しています。そこでふれあいネットワーク活動の基本となる“見守り・助け合い・話し合い”活動の充実が必要です。								
2 活動の方針・目標								
・福祉協力員を新たに選出し、各団体と協力しながら校区内に居住する「支援を必要としている人」を定期的または随時訪問したり、生活上の困りごとなどのニーズの把握に努めます。また、支援を必要としている人の状況について「基本台帳」に記録する等の仕組みを再構築します。さらに、必要に応じて相談機関など各種関係機関につなぐなどふれあいネットワーク活動の充実を図ります。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	2019	2020	2021	2022	2023	参考
住民アンケート調査の実施		まち協・自治会 民児協・その他 関係機関	準備・配付・回収 集計・活動の検討		活動の実施			アンケートの結果を踏まえ 今後の活動を検討し実施
見守りの活動 の充実	「福祉台帳」 の整備	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						
話し合いの活動 の充実	連絡調整会議 の充実	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						
助け合い活動の充実	住民アンケート調査の実施	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関	準備・配付・回収 集計・活動の検討		活動の実施			アンケートの結果を踏まえ 今後の活動を検討し実施
	「スクラム☆ 門司校区」の立ち上げ	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関	住民への周知		活動の実施			アンケートの結果を踏まえ 今後の活動を検討し実施



重点実施項目		災害時の救援体制づくり ～1人でも多くの命を救おう～						
1 課題背景及び現状								
・門司校区は高齢化が進み、災害時に自分で避難出来ない人や助けを呼べない人等、避難要支援者が年々増えていると思われますが、緊急連絡網が整備されていません。また、町内会長が福祉協力員を兼任し、1年ごとに交代する等の理由から避難要支援者の情報等が校区全体で共有出来ないのが現状です。 ・平成30年7月豪雨災害では、幸いにも門司校区では人的被害は出なかったものの、今後いつ起こるかわからない災害に対し、早急な体制づくりが望まれます。								
2 活動の方針・目標								
・町内会長とは別に新たな福祉協力員を選出します。また、「防犯、防災部門」を立ち上げ町内会長へアンケートを実施するとともに、防災マップを作成し災害時のみならず他の非常時にも活用できる緊急連絡網を整備します。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	2019	2020	2021	2022	2023	参考
町内会長へアンケート調査の実施		まち協・自治会 民児協・その他 関係機関	準備・配付・回収 集計・活動の検討		活動の 実施			アンケートの結果を踏まえ今後の活動を検討し実施
緊急連絡網の整備	「防犯部門」 「防災部門」 の結成	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						
	避難要支援者 情報の把握	まち協・自治会 民児協						避難要支援者情報の把握と更新
	避難場所、 危険箇所の リストアップ	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						
	防災マップの 作成	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						
	緊急連絡網の 作成	まち協・自治会 民児協・その他 関係機関						作成と更新



第4章 門司校区の計画推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
 - ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
 - ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知
- 等、計画を推進していくために計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

（1）小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、門司校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
 - ② 計画内容の具体的な実施方法
 - ③ 進行管理の実施
- 等について、協議を進めていきます。

（2）計画の進行管理

門司校区小地域福祉活動計画推進委員会を随時開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。



（3）計画の評価

計画期間の中間時点で見直しの必要が生じた場合は、見直しを行い、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期（第一次計画第5力年度）には新しく第二次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料

1 門司校区小地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 団 体	役 職	備 考
1	中 村 輝 行	社協、自治連合会、まち協	会長	町内会長
2	門 井 豊	自治連合会、まち協	副会長	町内会長
3	脇 富 枝	まち協	部会長	
4	森 清	まち協	部会長	町内会長
5	岡 崎 昌 信	自治連合会	理事	町内会長
6	都 城 俊 治	自治連合会	理事	町内会長
7	成 安 克 俊	自治連合会	理事	町内会長
8	中 村 昌 亮	自治連合会	理事	町内会長
9	甲 斐 久 恵	自治連合会	理事	町内会長
10	瀬 藤 早 苗	老松市民センター	館長	
11	藤 島 智 子	婦人会、まち協、 地区民児協（門司）	会長、副会長 民生委員・児童委員	
12	鶴 岡 玉 徳	老人会	会長	町内会長
13	稲 益 富 子	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
14	富 来 憲 章	地区民児協（門司）	地区会長	
15	内 藤 照 子	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
16	白 川 英 文	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
17	磯 金 大 二 郎	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
18	小 林 久 美 子	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
19	森 口 秀 子	地区民児協（門司）	民生委員・児童委員	
20	京 極 義 穂	地区民児協（門司）	主任児童委員	
21	坂 本 賢 二 郎	健康づくり推進員の会	会長	
22	岩 崎 豊 子	健康づくり推進員の会	推進員	町内会長
23	広 永 ツ タ 卫	健康づくり推進員の会	推進員	
24	内 藤 志 信	公民館	主事補	

※（所属団体・役職は平成30年8月現在）



2 策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	H30.8.21	役員打合せ ・計画について意見交換 ・現状把握や課題抽出準備
2	H30.8.27	第1回策定委員会 ・小地域福祉活動計画の概要説明 ・既存事業の取り組みの抽出
3	H30.9.26	第2回策定委員会 ・既存事業の取り組みの確認と整理
4	H30.10.24	第3回策定委員会 ・地域の福祉課題抽出の検討
5	H30.11.21	第4回策定委員会 ・既存の取り組み、地域福祉課題を体系図に整理 ・既存の取り組み、地域福祉課題のつきあわせ
6	H30.12.19	第5回策定委員会 ・重点実施項目の検討 ・重点実施項目②の実施計画づくり
7	H31.1.23	第6回策定委員会 ・重点実施項目②の実施計画づくり
8	H31.2.15	第7回策定委員会 ・重点実施項目①の実施計画づくり
9	H31.3.7	第8回策定委員会 ・重点実施項目①の実施計画づくり ・計画書の編集 ・冊子デザイン、印刷発注について検討
10	H31.3.25	第9回策定委員会 ・計画書の最終確認 ・H31年度取り組みの確認



策定委員会の様子



第1・2・3回



第4・5・6回



第7・8回

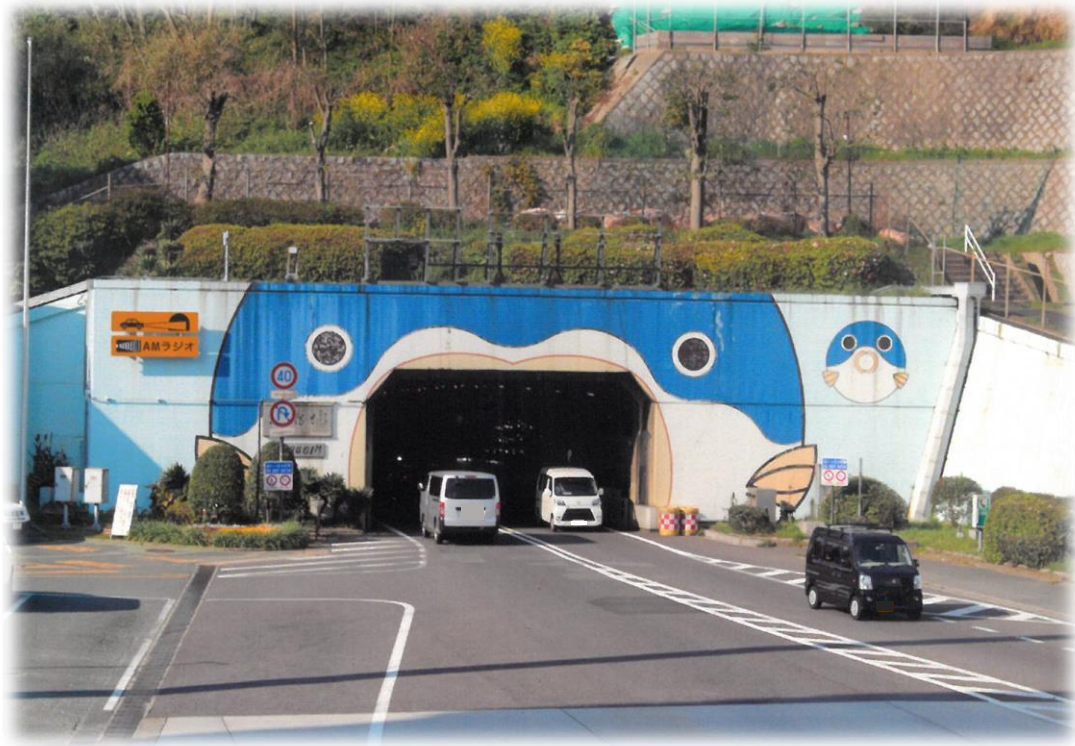
ふくしプランニング工房

校区のみなさん
ご協力よろしく
お願いします。



第9回





関門トンネル車道入口付近

門司校区社会福祉協議会

〒801-0873 北九州市門司区東門司 1-12-26 門司校区公民館内
TEL : 093-321-6517 FAX : 093-321-6517
HP : <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/moji/moji/>

門司区社会福祉協議会

〒801-8510 北九州市門司区清滝 1-1-1 門司区役所内
TEL : 093-331-3688 FAX : 093-331-5994
HP : <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/moji/>

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた8F
(代 表) TEL : 093-882-4401 FAX : 093-882-3579
(地域福祉部) TEL : 093-882-4425 FAX : 093-873-1351
HP : <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>

